

地域少子化対策強化事業実施計画書（市町村分）

都道府県名 三重県

市 町 村 名	菟野町
事 業 名	ライフプラン応援事業
事業の趣旨・目的	県が実施する事業に加え、当町独自で、「妊娠、出産に関する情報提供」を行うことで、結婚や家族を持つことへの意義を啓発するなどし、結婚・妊娠・出産・育児の「切れ目のない支援」を行うことを目的とする。
実 施 期 間	交付決定後 ～ 平成27年3月31日
所 要 見 込 額	565,000 円
地域の实情と課題	<p>当町は年々少子化が進み、「地域別将来推計人口」を基に出生児数を推計すると、平成24年度出生児数から8年後の平成32年度には約10%以上の出生児数が減少することとなっている。</p> <p>当町では、東日本大震災以降、地震津波の危惧から町内転入家族が増加し、出産適齢期にある家族の転入も顕著である。</p> <p>子育てしやすい町として就学前保育、教育も待機児童を出さないよう施設環境の充実等ハード面の整備に取り組んできたところであるが、少子化に歯止めが掛からない状況は変わっていない。</p> <p>よって、この現象を少しでも好転させるためには、今から数年間の内に出産適齢期にある若い夫婦の出生率向上に資するソフト面の施策の充実を図ることが必要であると考えている。</p> <p>そのためには、夫婦間の課題でもある男性の育児参加機会の増加を図るための各種事業を企画し、仕事を持つ夫婦も参加しやすい日時の設定（土曜日等）や魅力的な教室内容の充実、参加者同士の仲間づくりを行う必要がある。</p> <p>また、都市部に比べ封建的な考えの父親も多く、地域には母親同士が交流する育児サロンはいくつか活発に活動しているが、父親の参加はなく、交流の機会もないのが現状である。妊娠期から、また出産後の子育てにおいて、父親の理解と協力は必要不可欠であるため、父親同士の仲間づくりの機会を提供する必要がある。</p>
事業内容	<p>1 結婚・妊娠・出産・育児の切れ目のない支援を行うための仕組みの構築 少子化対策県民運動等推進事業【県事業】 結婚したい人が結婚でき、子どもを産みたい人が安心して産み育てられる地域社会づくりをめざして、多様な主体の参画を得ながら少子化対策に関する県民運動を展開</p> <p>2 結婚に向けた情報提供等 みえの出産支援事業（県事業） 結婚・妊娠・出産・育児の「切れ目のない支援」の実現に向け、結婚に向けた情報提供等に取り組む。</p> <p>3 妊娠・出産に関する情報提供 父親の育児参加支援事業【新規】 数年間の内に出産適齢期にある若い夫婦の出生率向上に資するソフト面の施策の充実を図るといふ当町の課題に対応するためババママ教室において、妊娠・出産・育児に関する知識や各種制度等の情報提供、沐浴体験等の実習を実施し、夫婦ともに育て、ともに育児を楽しむという夫婦共通認識を持つために、父親への育児手法の伝達、父親同士の仲間づくりを行う。 また、プレババだけではなく、これから子どもを望む男性に対しても参加を促し、妊娠・出産に関する正しい情報提供、先輩ババから自らの経験や戸惑い、困難だったこと、家庭内での育児のコツ、子どもを持つことの喜び、妻や職場の妊婦への配慮等について、男性同士が気軽に話し合える交流会を実施する。 なお、教室開催の周知と参加者募集については、婚姻届を提出された方への受講案内、町内の高等学校にも周知を行う等、広く町民にも情報発信していくことで、根強い役割分担を変えるきっかけとするとともに、家庭内で子どもを産み育てていく思いを話し合い、支え合える機会とすることは、当町においては非常に画期的であり、先駆的取り組みであると考えている。</p> <p>4 結婚・妊娠・出産・育児をしやすい地域づくりに向けた環境整備 健やか親子支援事業【県事業】 出産前後の妊産婦の支援の強化のため、医療機関を含めた周産期からの関係機関のネットワーク構築事業を行う。</p>
事業の効果	妊娠・出産・育児に関する正しい知識の普及、父親の育児参加の支援により、安心安全な妊娠・出産・子育てに結びつくとともに少子化の改善、そして会社及び社会での育児認識の変革に寄与していくことが期待できる。
都道府県との連携方法	1、2、4の部分は県事業で補完し町独自事業と合わせ結婚・妊娠・出産・育児の「切れ目のない支援」を行います。